

平成25年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校国語】

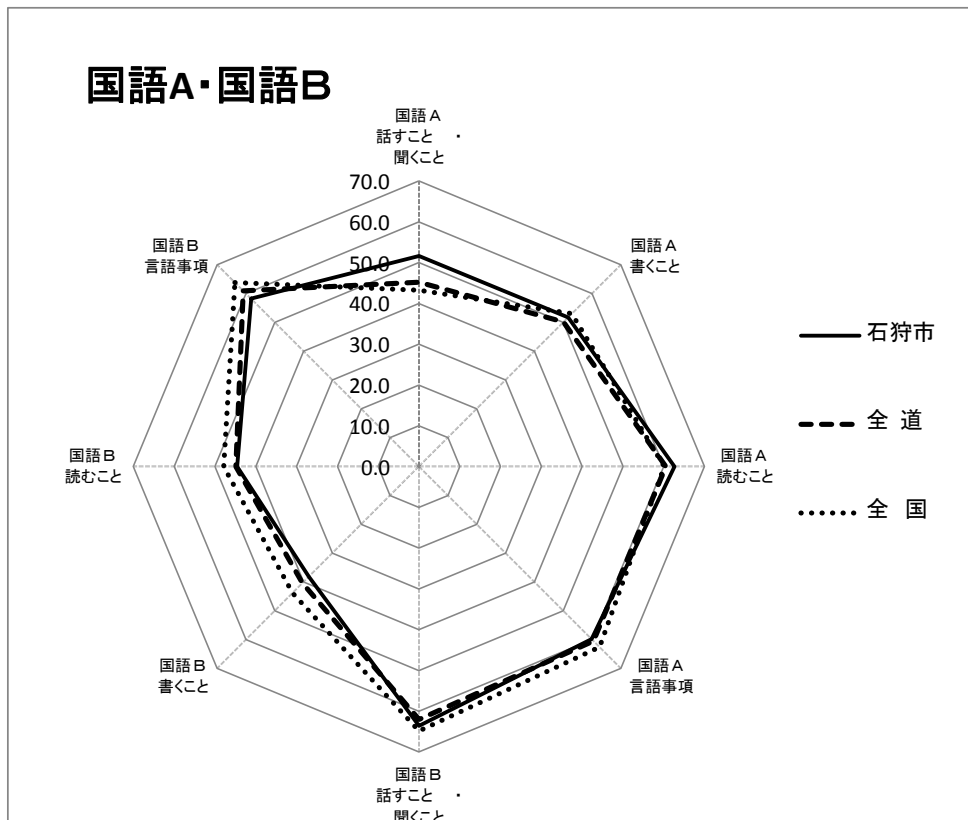
□ 正答率の状況 □

	国語A(主として「知識」に関する問題)		国語B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	11.3問/18問	62.7%	4.9問/10問	49.4%
全道(公立)	10.9問/18問	60.4%	4.6問/10問	46.4%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
	石狩市 : ○ 全国 : ☆				☆	○								☆	○			

相当高い	… 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様	… -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い	… 5ポイント以上7ポイント未満の範囲	やや低い	… -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い	… 3ポイント以上5ポイント未満の範囲	低い	… -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様	… 1ポイント以上3ポイント未満の範囲	相当低い	… -7ポイント以下の範囲
同様	… ±1ポイント未満の範囲内		

□ 国語 領域別正答率比較グラフ □



□ 国語科の概要 □

- 国語はA・Bとも全道と同様で、全国との差も縮まりました。これまでの各学校の取組が、確実な成果に結びついてきていると考えられます。
- 選択肢を選ぶ問題の正答率は高く、全国平均よりも高い設問(28問中6問)も見られました。
- 漢字の読みでは一部成果も見られましたが、漢字の書きでは、まだ、全国との差が見られ課題と言えます。
- 無解答率は全道と同様で、全国よりもやや高い傾向を示しました。

国語 A（主として「知識」に関する問題）

以下に示す内容で、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題で構成されています。

- ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を読んだり書いたりする。
 - ・ ことわざの意味、文の定義、接続語の持つ働きを理解する。
 - ・ 目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書く。
 - ・ 広告の編集の特徴や俳句の情景を捉える。
 - ・ スピーチの表現を工夫する。
- 設問数は、18問です。

【各領域別傾向】

- ・ 「話すこと・聞くこと」の領域は、全道と比べ高く、全国より相当高い傾向を示しています。
- ・ 「書くこと」の領域は、全道と比べほぼ同様（上位）で、全国に比べほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・ 「読むこと」の領域は、全道と比べほぼ同様（上位）で、全国と比べてもほぼ同様（上位）の傾向を示しています。
- ・ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全道と同様で、全国に比べほぼ同様（下位）の傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
話すこと 聞くこと	7 スピーチの表現を工夫する	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものと適切なものを選択する	51.6%	45.2%	45.2%
書くこと	4 テ 目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書く	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く	71.9%	70.3%	72.4%
読むこと	5 イ 広告を読み、編集の特徴を捉える	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	77.6%	72.6%	71.7%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1 ー (3) 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	めずらしい植物を採集する	70.6%	62.9%	64.9%

【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
書くこと	3 二 (1) 文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	接続語を使って1文を2文に分けて書く	19.8%	20.2%	23.4%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1 二 (1) 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	魚をやく	63.2%	67.0%	72.4%
		委員会をもうける	45.4%	49.6%	53.5%

〈指導の改善にあたって〉

- ・ 目的や意図に応じ、適切な文を選択する設問には全国平均を上回る成果が見られた半面、文章を書く設問には課題が見られます。
- ・ これまで同様、目的や意図に応じて、必要となる事柄を整理して簡潔に書く指導の強化が求められます。そのためには、意味・内容が簡潔明瞭に伝わる、短い一文を書く指導を、日常の教科指導に盛り込み、継続する必要があります。
- ・ 漢字を正確に読んだり書いたりする力を、さらに定着させる必要があります。そのためには、児童の意欲を保ちながら、繰り返し定着状況を確認する機会を設けるなどの工夫が必要です。

国語 B (主として「活用」に関する問題)

基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかをみる問題で構成されています。

- ・相手の立場や意図を捉えながら聞き取り、適切で効果的な助言をする。
- ・目的に応じ、適切に書き加える。
- ・目的や意図に応じて、複数の内容を関係付けながら、自分の考えを具体的に書く。
- ・推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由、読み方の違いを捉える。

設問数は、10問です。

【各領域別傾向】

- ・「話すこと・聞くこと」の領域は、全道に比べほぼ同様（上位）で、全国に比べほぼ同様（下位）の傾向を示しております。
- ・「書くこと」の領域は、全道に比べほぼ同様（下位）で、全国に比べ低い傾向を示しております。
- ・「読むこと」の領域は、全道と同様で、全国と比べやや低い傾向を示しております。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全道に比べほぼ同様（下位）で、全国に比べ低い傾向を示しております。

【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
話すこと 聞くこと	1 — 相手の立場や状況を感じ取って聞く	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	79.40%	76.9%	78.8%
読むこと	3 ウ 2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉える	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く	44.30%	41.9%	44.6%

【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
書くこと	2 — 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	17.30%	22.0%	26.2%
読むこと	3 二 2人の推薦文を比べて読み、読み方の違いを捉える	2人の推薦文を比べて読み、それぞれの読み方として適切なものを選択する	45.40%	48.8%	51.9%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2 — 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に書き加える	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	58.20%	60.9%	63.8%

〈指導の改善にあたって〉

- ・昨年度と比べ、全道・全国との差は縮まっていますが、「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域については、今後も引き続き改善の必要があります。
- ・目的や意図に応じ、資料を的確に読み取り、必要な内容を適切に引用して書く指導の充実が求められています。
- ・複数の推薦文について、その違いを明確にしなが読み比べる指導の充実が必要です。

教科に関する意識 (質問紙の傾向)

- ・「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、昨年度と同様の傾向です。全国57.9%、全道57.5%に対して石狩市は59.0%で、それぞれ全国比1.15%、全道比1.5%高い結果となっています。
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、昨年度より増加しています。全国91.0%、全道90.8%に対して、石狩市は94.1%で、それぞれ全国比3.1%、全道比3.3%高い結果となっています。
- ・「国語の授業内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、昨年度より減少しています。全国79.9%、全道78.8%に対して石狩市は78.2%と、全国比1.7%、全道比0.6%とそれぞれに低い結果となりました。

平成25年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校算数】

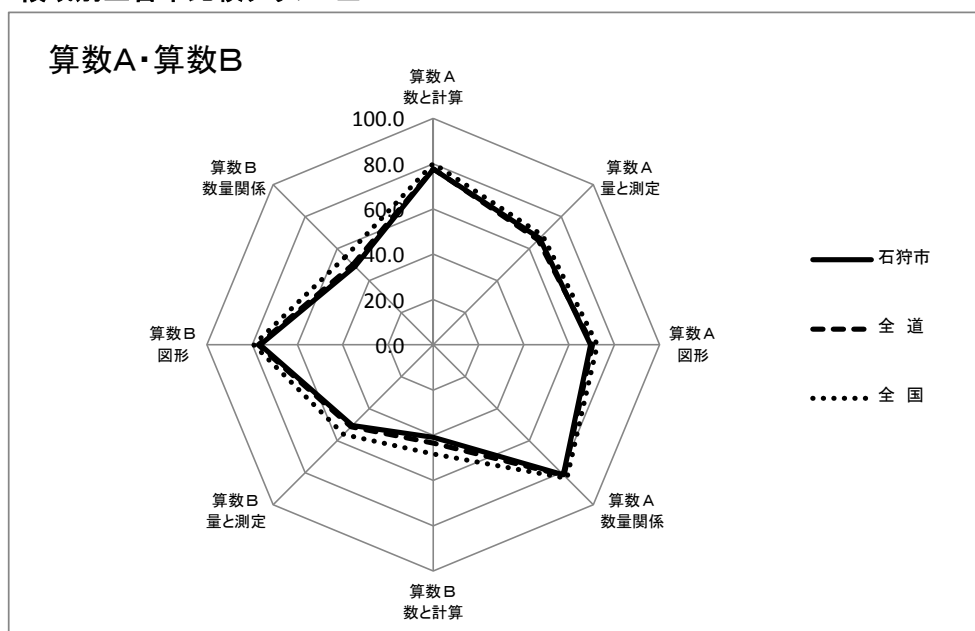
□ 正答率の状況 □

	算数A(主として「知識」に関する問題)		算数B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	14.7問/19問	77.2%	7.6問/13問	58.4%
全道(公立)	14.2問/19問	74.9%	7.0問/13問	54.0%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
	石狩市 : ○ 全国 : ☆				☆	○								☆	○			

相当高い	… 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様	… -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い	… 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い	… -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い	… 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い	… -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様	… 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い	… -7ポイント以下の範囲
同様	… ±1ポイント未満の範囲内		

□ 算数 領域別正答率比較グラフ □



□ 算数科の概要 □

- 市内各校の正答率については、全道と同様の傾向を示し、全国との差が縮まりました。
- 無解答率については、A問題では、全国(1.7%)と同様で、全道(1.9%)より若干少な目でした。B問題では、市内各校の平均は8.2%で、全道(8.0%)全国(6.3%)よりも若干多い結果でした。
- 小数・分数の四則計算については改善が見られます。反面、整数の減法に誤答が見られ、見直しの習慣化が必要です。
- 示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのか筋道を立てて表現することに課題があります。

算数 A（主として「知識」に関する問題）

以下の内容で、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題で構成されています。

- ・概数や単位量の計算、整数、小数、分数等の四則計算をする。
 - ・1 a（アール）や台形の面積を求める。
 - ・三角形の作図と円柱の展開図の辺の長さの関係を理解する。
 - ・割合の比較量と基準量の関係を理解する。
 - ・棒グラフの読み取りをする。
- 設問数は19問です。

【各領域別傾向】

- ・「数と計算」の領域は、全道と同様で、全国と比べほぼ同様（下位）の傾向を示しております。
- ・「量と測定」の領域は、全道とほぼ同様（上位）で、全国と比べほぼ同様（下位）の傾向を示しております。
- ・「図形」の領域は、全道と同様で、全国と比べやや低い傾向を示しております。
- ・「数量関係」の領域は、全道と同様で、全国と比べほぼ同様（下位）の傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率	
数と計算	1 (6)	同分母の分数の加法の計算をすることができる	2と5/7+1と1/7を計算する	92.30%	89.2%	88.9%
数と計算	3	余りのある除法の場面において、被除数を求める式について理解している	除数と商と余りから被除数を求める式を選ぶ	72.60%	67.6%	71.6%
量と測定	5 (2)	1 a（1アール）の面積と等しい正方形の辺の長さを理解している	1 a（1アール）と等しい面積になる正方形の辺の長さを選ぶ	53.60%	51.3%	52.3%

【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率	
数と計算	2	示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理することを理解している	一万の位までの概数にしたときに、20000になる数を選ぶ	50.7%	55.1%	60.2%
図形	7 (2)	円柱について、底面の円周の長さや展開図の側面の辺の長さが対応していることを理解している	展開図に示された側面の長方形の縦の辺の長さを書く	60.0%	62.3%	66.3%
数量関係	8 (1)	割合が50%のとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している	200cmの50%に当たる長さを選ぶ	72.6%	73.8%	76.7%

〈指導の改善にあたって〉

- ・「数と計算」では、同分母の分数の加法、除数と商と余りから被除数を求めることについては、高い成果を示し、全国の平均も上回っています。反面、概数の処理については、課題が見られます。四捨五入の活用と定着を図る必要があります。
- ・「図形」については、辺や面の関係を定着させる必要があります。また、展開図を基にした立体の関係を理解させる指導の強化が必要です。

算数 B (主として「活用」に関する問題)

以下の内容で、基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題で構成されています。

- ・複数の処理の仕方を解釈し、一方が合理的な処理である理由を記述する。
 - ・図形を観察して筋道を立てて考え、面積の関係を記述する。
 - ・示された条件を基に、数値の求め方を記述する。
 - ・グラフから適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を記述する。
- 設問数は13問です。

【各領域別傾向】

- ・「数と計算」の領域は、全道とほぼ同様（下位）で、全国と比べ相当低い傾向を示しております。
- ・「量と測定」の領域は、全道と同様で、全国と比べ低い傾向を示しております。
- ・「図形」の領域は、全道と同様で、全国と比べほぼ同様（下位）の傾向を示しております。
- ・「数量関係」の領域は、全道とほぼ同様（下位）で、全国と比べ低い傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
量と測定 数量関係	2 (3) 表から数値を適切に取り出して、二つの数値の関係が比例の関係であることを記述できる	示された実験の結果から、ふりこの長さで10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く	31.90%	30.3%	35.2%
量と測定	3 (2) 示された分け方で二つの三角形の面積が等しくなることを記述できる	示された分け方が元の長方形を4等分していることの説明として、二つの三角形の面積が等しいことを書く	40.90%	38.0%	42.7%
数量関係	5 (1) 棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取ることができる	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフの説明に対して、その説明がグラフのどの期間を示しているのか、正しいものを選ぶ	73.80%	73.1%	76.1%

【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
数と計算 数量関係	1 (1) 情報を整理し、筋道を立てて考え、三つの条件全てに当てはまる乗り物を判断することができる	残りの乗り物券の枚数と乗る予定の乗り物を基に、二人がまだ乗る予定になく一緒に乗ることができる乗り物を書く	44.70%	48.8%	51.0%
量と測定 数量関係	2 (1) 示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解している	示された式の値が何を示しているのかを書く	41.10%	44.9%	51.7%
数と計算 量と測定	4 (1) 単位量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述できる	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数が、ワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求める方法と答えを書く	32.70%	35.7%	43.1%

〈指導の改善にあたって〉

- ・示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて、同様の問題の演習を多く取り入れる等の定着に向けた取り組みが必要です。
- ・基準量、比較量、割合の関係を図に表したり、□を用いた式で表したりして、数量の関係を捉える活動の充実が必要です。

教科に関する意識（質問紙の傾向）

- ・「算数の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全国66.2%、全道63.6%に対して石狩市は65.4%で、全国比0.8%低く、全道比1.8%高い結果となっています。
- ・「算数の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全国92.1%、全道90.8%に対して石狩市は91.6%で、全国比0.3%低く、全道比0.8%高い結果となっています。
- ・「算数の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、全国80.2%、全道76.5%に対して、石狩市は80.1%で、全国と同様で、全道比3.6%高い結果となっています。
- ・「問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」に対する肯定的な回答は、全国77.4%、全道75.3%に対して石狩市80.1%と、全国比2.7%、全道比4.8%高い結果でした。
- ・「授業で学習したことは将来役に立つと思いますか」に対する肯定的な回答は、全国88.8%、全道86.8%、石狩市89.5%で、全国比0.9%、全道比2.7%高い結果でした。